# にかほ市の次世代育成支援

## ～市の取り組みと子育て家庭の現状～

市では、旧三町の次世代育成支援行動計画をもとに、平成19年3月、にかほ市次世代育成支援行動計画として見直し、子育て支援施策を推進しています。これは少子化の進行と地域・家庭の環境変化の中で、次代を担う子どもたちを健やかに育てるための計画です。

平成21年度は前期計画（平成17～21年度）の最終年度にあたり、後期計画（平成22～26年度）の策定に向けて取り組みます。

ここでは、平成20年度の取り組み状況や昨年度に実施したアンケートの調査結果についてお知らせします。

### にかほ市の取り組み（平成20年度）

| No. | 施策名 | 施策の概要 | 担当課 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保育所の通常保育の充実 | ○保育が必要な児童の全員入所を実施。待機児童なし。入所児童943人。<br>○適正な定員管理の中で、ひまわり・若葉各保育園は定員を増加させて対応。 | すくすく子育て支援課 |
| 2 | 延長・休日・一時保育の充実 | ○全10保育所が延長保育を実施。延べ約11,200人利用。<br>○勢至保育園を休日保育所に指定。延べ約150人利用。<br>○全10保育所が一時保育を実施。延べ約860人利用。 | |
| 3 | 保育料の負担軽減 | ○保育料を国の基準の約60％に設定したうえ、すこやか子育て支援事業やひとり親家庭保育援助事業により軽減を実施。国の基準からみた負担軽減総額は約1億8千5百万円。 | |
| 4 | 学童保育クラブの充実 | ○院内学童保育クラブを新設。金浦地区のたんぽぽサークルを土曜日も開設。市全体で220人が登録し利用。市内の5クラブの利用料金を統一。（平日200円など） | |
| 5 | 身近な遊び場の整備充実 | ○安全な遊び場の確保のため、自治会の遊園地への遊具・防護柵設置事業へ2／3補助。 | |
| 6 | 児童虐待防止施策の推進 | ○要保護児童対策地域協議会が連携し、個々の児童虐待を迅速に解決。<br>○家庭児童相談室で相談員が迅速な対応を実施。 | すくすく子育て支援課 |
| 7 | 放課後子ども教室推進事業 | ○児童が安心してできる体験・交流活動として、3公民館で放課後子ども教室を開設。地域のさまざまな方々の参加を得る。約380人の児童が登録。 | 社会教育課 |
| 8 | こんにちは赤ちゃん事業 | ○生後4カ月までの乳児がいる家庭を全戸訪問し、育児を支援。 | 健康推進課・保健センター |
| 9 | 乳児・幼児健康診査の充実 | ○健診の年間日程表の配布や未受診者への連絡、事後相談の支援などにより受診率の増を図る。受診率は97％。 | |
| 10 | 妊婦健診の推進 | ○妊娠・出産をサポートするため、10枚の受診票を発行し妊婦健診料を補助。受診率は98％。今年度は14枚発行する。 | |
| 11 | 子育て支援センター事業 | ○子育ての悩みや不安解消のため、親子交流や育児相談事業を実施。延べ約2、500人が利用。 | |

### アンケート調査結果

市では、後期計画策定にあたり、計画の対象者の生活実態や子育てに関する状況や要望などを調査し、計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

調査結果の主なものを紹介します。

### 就学前児童のいる世帯

子どもの数は「2人」が45％、「1人」が33％、「3人」が18％の順で、子どもの身の回りの世話などは約9割が「主に母親」となっています。

母親の就労状況は、「現在は働いていない」が20％で、その理由として「働きながら育児できる適当な仕事がない」40％が最も多く、「家族の理解が得られない等環境が整っていない」が12％の順になっています。

**保育サービスの利用状況**

保育サービスは、「利用している」が74％で最も多く、今は利用していないが、できれば利用したいと思う保育サービスは「特にない」が27％で、次いで「病児・病後児保育」25％の順になっています。

**病気の場合の対処**

子どもが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったケースは、「あった」が47％となっています。利用できなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が75％と多く次いで「親族・知人に預けた」、「父親が休んだ」の順になっています。

**子育てについての感じ方**

子育ての負担感は、「あまり負担は感じない」が41％、「何となく感じる」が25％で、若干の負担感が見られます。負担を感じる項目は、「自分の自由な時間が持てない」が68％と最も多く、次いで「子育てによる体の疲れが大きい」、「出費がかさむ」の順になっています。

子育ての悩みでは、「子どもとの時間を十分取れない」「病気や発育・発達に関すること」がともに27％で最も多くなっています。

### 小学校児童のいる世帯

子どもの数は「2人」が55％、次いで「3人」が25％、「1人」が14％の順で、子どもの身の回りの世話は、8割以上が「主に母親」となっています。母親の就労状況は、「就労している」が81％で、就学前児童保護者を若干上回っています。

**子どもの過ごし方について**

放課後の学童保育クラブは、「利用している」が20％、「利用していない」が79％となっています。

小学4年生以上の放課後の過ごし方の希望は、「クラブ活動など習い事をさせたい」が55％となっています。

朝食の状況は、「親と子どもがそれぞれ別の時間に食べている」が24％あり、4世帯につき1世帯が別々に食べている状況です。

**子育てについての感じ方**

子育ての負担感は、「あまり負担は感じない」が45％、「何となく感じる」が21％となっています。負担感を感じる項目は、「出費がかさむ」、「自分の自由な時間が持てない」がともに47％と多く、次いで「子育てによる体の疲れが大きい」の順になっています。

子どもが小学生になるにつれて、子育ての経済的負担感が増加している状況がうかがえます。

**アンケート調査の概要**

**実施時期**　平成20年12月

**調査方法**　郵送によるほか、保育園・学校などの協力により調査票を配布回収

**対象・回収率等**

▽就学前児童…

対象1、103件

回収率77・1％

▽小学校児童（1～3年生）…

対象693件

回収率95・1％

アンケート調査に多くのご協力をいただきありがとうございました。

貴重な意見を活用し、後期計画の策定を進めていきます。

調査結果は、すくすく子育て支援課、各保健センターでご覧いただけます。

**問合先**　すくすく子育て支援課 ☎32・3040



～あなたの力を後期計画策定に生かしてみませんか～

## 市次世代育成支援対策協議会の委員を募集します

**応募資格**　▷市内在住の20歳以上の方▷平日の昼間に開催する会議に出席できる方▷市職員、市議会議員など行政関係者でない方

**募集人員**　5名程度(任期は平成22年3月31日まで)

**応募方法**　次の書類を持参、郵送、ファクス、メール等によりすくすく子育て支援課まで提出してください。

▷「子育て支援に思うこと」を記した200字程度の作文▷住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記載した申込書（様式は自由）

**応募期限**　8月17日(月)　必着

**選考・発表**　応募内容を審査のうえ決定します。結果は、8月下旬に応募者全員に通知します。

**応募・問合先**

〒018－0492

にかほ市平沢字鳥ノ子渕21

すくすく子育て支援課

☎32－3040　FAX37－2135

E-Mail:sukusukusienka@city.nikaho.lg.jp